

在宅取組型(小学校)

学校名等	大垣市立荒崎小学校
実施日時	①令和4年8月1日(月)~8月7日(日) ②令和4年10月1日(土)~10月10日(月) ③令和4年12月27日(火)~令和5年1月2日(月)
会場	各家庭
参加人数	196人
学習課題(分野)	親子ふれあい活動(基本的な生活習慣、家族の大切さ、思いやり、挨拶及び礼儀) ①「話そう!語ろう!わが家の約束運動」②親子クッキング、③ポカポカ週間
運営者の願い	例年行っている親子で取組む内容を、①約束づくり、②一緒に活動するふれあい、③言葉かけによるふれあいの3つに整理し、挨拶や礼儀の大切さを含めた家族の絆や家族の大切さを実感できるようにしてほしい。



家族での取組を充実させ、つながりのある活動へ

例年行っている活動に、さらに「話そう!語ろう!わが家の約束運動」を加え、①約束づくり、②一緒に活動するふれあい、③言葉かけによるふれあいと整理しています。これにより、活動の意義を明確にし、年間を通じてつながりのある活動にしています。

学習の内容


<取組の流れ>

- ①夏休み期間に行う「話そう!語ろう!わが家の約束」について、取組内容を示して、配付。
- ②9月に感想を添えたカードを回収し、取組内容をまとめた資料を配付。
- ③10月に行う「親子クッキング」について案内し、10日間の期間を設けて配付。
- ④12月に感想や作った料理の写真を添えたカードを回収し、取組内容をまとめた資料を配付。
- ⑤冬休み期間に行う「ポカポカ週間(温かいことばかけ)」について、取組方法を示して配付。
- ⑥2月に感想を添えたカードを回収し、取組内容をまとめた資料を配付。

<実践後の報告>

おうちのかたから こどもへのメッセージ

「自分から「何ができる事ある?」ときいてくれて嬉しかったです。お手伝いをすることで親の気持ちが少しも分かってもらえたことがうれしいです。思いが伝わる大切な言葉を家族で言える毎日になると良いですね。楽しかった事を話す事はとても良い願してるね。」



こどもから おうちのかたへ

「お母さんが毎日面白いをしていると考えるとすごい大変なんだなと思いました。毎日家族に思いを伝え、心がポカポカしてとても気分がいいので、これからは家族がよくなる言葉をかけたいです。いつもごはんをつくってくれてありがとう。」

【①「話そう!語ろう!わが家の約束運動」の実践から】

おうちの方からのメッセージや子どもからのメッセージが紹介され、これからの意欲付けになります。

取組が表でまとめられて見やすく、今後の参考にしやすくなります。

①掃除・手伝い	47人	⑤ポカポカ言葉・ハグ	18人
②あいさつ	38人	⑥宿題	17人
③早寝・早起き	26人	⑦世界の世話	6人
④好き嫌いをずげず食べる	19人	⑧その他	14人

【②「親子クッキング」の実践から】

子どもと保護者のコメントから、お互いに楽しい活動になっていることが伝わります。

作ったものランキングや実際の写真を掲載することで、どんな料理を親子で楽しめるか参考になります。


作ったものランキング

- 1位 ハンバーグ
- 2位 クッキー
- 3位 ケーキ
- 4位 カレー
- 5位 おにぎり

その他 餃子・チャーハン・お好み焼き・シチューなど

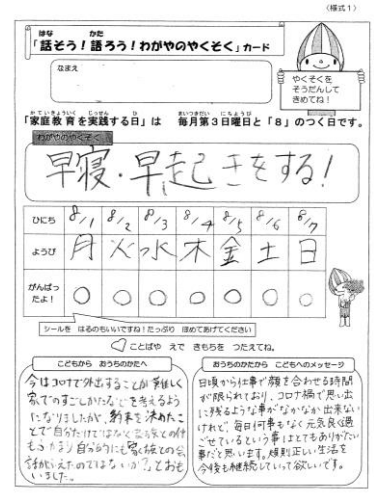
(感想) 子ども
・家族に「おいしい」と言ってもらって嬉しい。
・一緒に料理ができて楽しかった。
・難しかったけど、ほめた言葉がほしい。

保護者
・親子で調理し、大切な時間になった。
・一緒に作ることで密着感が増えました。
・子供の成長を感じました。



<取組の成果>

- 「約束を決めたことで自分だけでなく、家族との仲も深まり、家族との会話も増えたのではないかなと思います。」という子どものメッセージのように、家族の約束を決めることで、家族の関わり方を再認識する取組となっている。
- 「毎日お手伝いをしたら、お母さんがこんなに大変なんだと思いました。」という子どものメッセージにあるように、家族の大切さを感じる取組となっている。
- 「家庭教育学級があると、親子で作ることができてとてもいい。終わっても続けていきたい。」という保護者のメッセージにあるように、家族が関わりをもつきっかけと継続できる取組となっている。



【「話そう!語ろう!わが家の約束運動」の実践例】



家族の関わりを充実させる働きかけ(資料)

提案する資料についても、例示をしたり、期間を一週間程度にししたりして、家族が無理なく取組めるように配慮しています。また、取組後にどんな関わりができたのかを紹介し、今後も続けていけるための継続的な働きかけをしています。